

平成 23 年度 上下水道部 経営計画書



部署名	上下水道部
役職・氏名	部長 谷田 孝史

上下水道部 経営方針

● 部の使命  
 上水道は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフラインです。災害に強く、高品質な水道水を供給するため、高水準な施設整備を推進して「いつでも どこでも 安全でおいしい水を」給水します。  
 下水道は、快適な生活環境整備だけでなく、自然から預かった「たからもの」の水を使用後、高度処理して還す自然環境を守る近代的なライフラインです。「下水道 水から聞こえる ありがとう」を心に下水道事業を推進します。

- 部の基本方針
- ① 安全で良質な水が飲めるまちを目指して、上水道の水源別、配水管エリアを結ぶ連絡管の敷設を進めます。
  - ② 安全で良質な水が飲めるまちを目指して、上水道、基幹施設の耐震化を進めます。
  - ③ 安全で良質な水が飲めるまちを目指して、将来の上水道水源構成の再編を検討するため、新規水源調査を実施します。
  - ④ きれいな水を未来へ渡すまちを目指して、下水道の複数処理区を、さらに統合して合理化を進めます。
  - ⑤ きれいな水を未来へ渡すまちを目指して、下水道事業の進捗に資する経営健全化のため、供用開始区域内の接続推進を図ります。

● 平成 23 年度 部のスローガン 築いて磨こう 「市民の夢・未来」 支えるライフライン

部署内経営資源				
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)
	43 人	9 人	52 人	
				上水道事業会計 1,486,211 千円
				下水道特別会計 1,715,095 千円 (335,980) 千円

上下水道部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 上水道、邑久・長船連絡管の敷設	主に福山浄水場から給水している旧邑久牛窓水道企業団の管轄区域と、主に長船水源地から給水している旧長船町区域を連絡管で接続し、災害時に一方の水源地のみで応急給水できるようにします。	平成 23 年度は上笠加、片山入口から北へ 280m を実施。 (全延長 2,400m を平成 31 年度末までに完成させ連結する予定。)	10 月から施工中で、24 年 2 月末に完了予定。	H24 年 2 月 28 日 今年度分の布設を完了 NS-DIP φ300 L=287m
2 上水道、基幹施設の耐震化	福山浄水場は耐震化工事を、牛窓配水池は新規築造すべきと耐震診断されたので、福山を優先して実施します。福山は 5 年間、その後、牛窓は 2 年間で完成の見込みです。	福山浄水場の管理棟と、ろ過池の耐震化工事を実施する。	福山浄水場の管理棟の耐震化工事は 11 月完了。ろ過池は 24 年 3 月完了の予定。	管理棟耐震化工事完了 H23. 11. 28 ろ過池耐震化工事完了 H24. 3. 14 今年分、達成
3 上水道、新規水源調査	福山浄水場は、耐震補強工事を実施して当面、延命化を図る計画ですが、いずれ全面的に更新か別水源利用か検討が必要です。新水源へ変更では、新送水管の敷設を順次進めておく必要があるため早期に調査します。	浄水コストが低い地下水が豊富と見込まれる、長船水源地の近郊などで、新規水源調査を実施する。	10 月 25 日発注。24 年 3 月に完了する予定。	邑久・長船でボーリング調査。利用可能な長船で揚水試験完了 H24 年 2 月 20 日 943m <sup>3</sup> /日
4 下水道の統合、合理化	瀬戸内市の下水道は、過去、着手年度が離れた小さな処理区が乱立し、それぞれ浄化センターがあるため、さらに合理化を進めます。	長船処理区の浄化センターを、最も新しい長船中央処理区の浄化センターへの統合を進める。	2 浄化センター統合のための計画書作成中、年度末完成見込。	2 処理区統合計画フレーム値の作成完了。273.2ha 10,630人
5 下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化には、利用者を増やし、使用料収入を増加させる必要があります。下水道の処理区によっては、接続率が供用開始後 6 ヶ月で、3 割を越えたところもあったが、利用可能なメディアを使い施設の利用をもっと促進する。	引き続き、供用開始する予定区域へパンフレットを配布するとともに、市ホームページへ下水道接続利用推進欄を作成。広報紙へも掲載する。	供用開始した区域内の全世帯へ詳細なパンフレットを配布しました。	供用開始区域内の水洗化率(下水道接続率) 63.6%を達成 ※戸数算出

